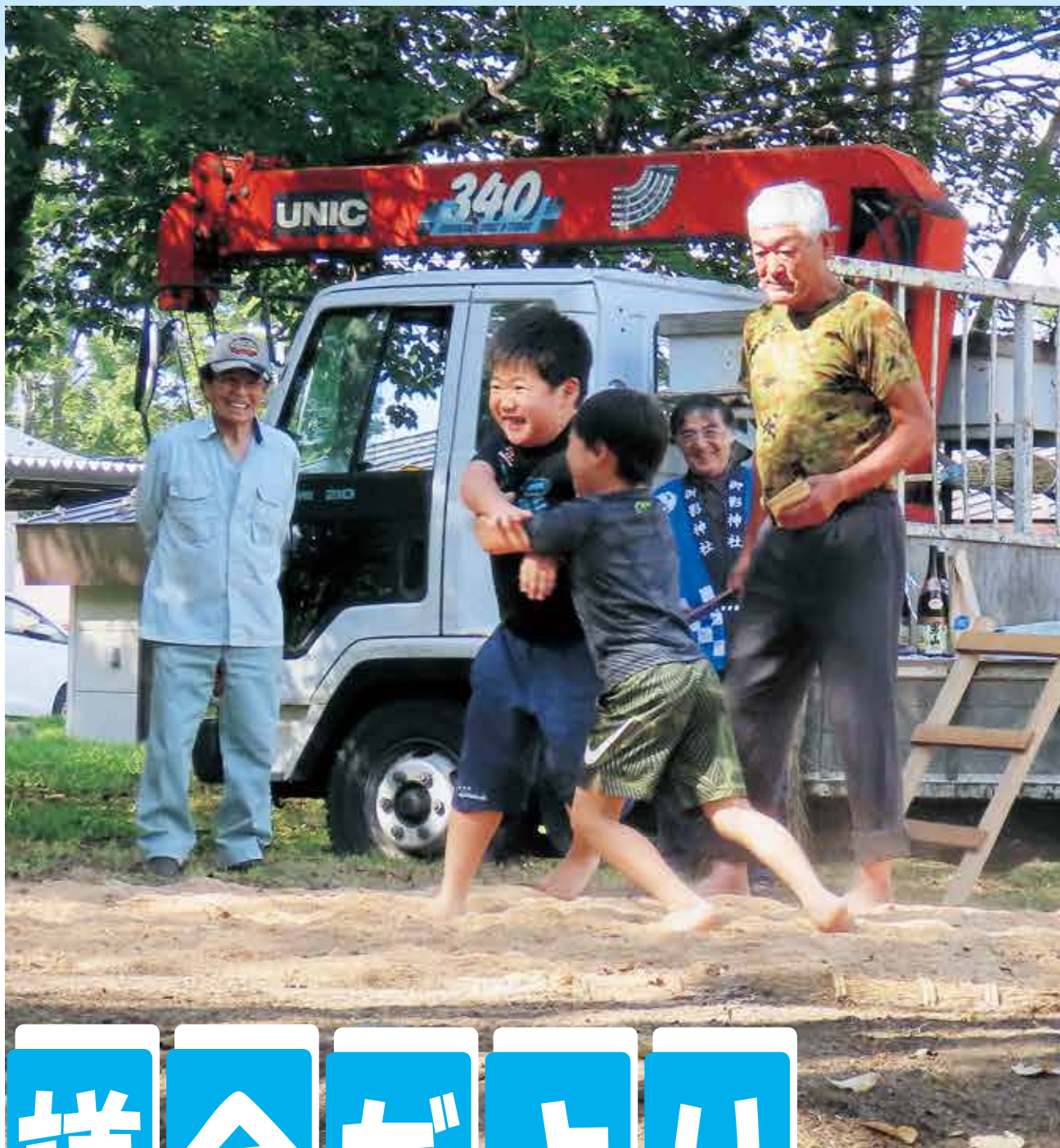


押しても動かないぞ！（御影秋まつり 子ども相撲）



議会だより しみず

9月定例会

- にんにく肉まつりなど補正予算を可決 2～3
- 平成30年度決算の主な質疑と答弁 4～5
- 町政を問う！6人が一般質問 8～14
- 町民との意見交換会 結果報告 16～18

北海道清水町
2019年(令和元年)11月
No.159

一般会計補正予算を可決

にんにく肉まつりの



多くの人でにぎわった十勝清水にんにく肉まつり (10/5)

今回の提案となった理由について、町長からは、「道の補助金の交付決定を待っていた。残りを町と農協で折半することで開催の見通しが立った。次年度以降は道の補助金がつくかどうかかわからないので、開催するなら気

運が高まった今であると判断した」との答弁がありました。また、「開催後は反省点を踏まえ、継続的なイベントとなるよう引き続き関係機関と協議を重ね、発展させていく」との考えが示されました。

9月
定例会

開催に質疑集中

「にんにくの生産開始から10年が経過 「十勝清水にんにく」の産地化を宣言

令和元年第5回清水町議会定例会が9月10日から26日までの17日間の会期で開催されました。初日は、行政報告2件、健全化判断比率・資金不足比率の報告のほか、新設条例3件の付託(※)、条例の一部改正2件、条例の廃止、一般会計ほか2特別会計の補正予算、損害賠償の額の決定及び和解の審議を行いました。2日目は、一般質問が行われ、6人が町政について質問しました。3日目と4日目は、平成30年度の決算について審議を行いました。最終日は、初日に委員会へ付託した条例の審査結果の委員会報告3件、条例の一部改正4件、人事案件、意見書2件の審議を行い閉会しました。

※「付託(ふたく)」とは、更に詳しく検討を加えるため、所管の委員会に審査を託すこと。



一般会計補正予算(第4号)は定例会初日の9月10日に審議を行い、採決の結果、賛成10・反対2の賛成多数で可決しました。(審議結果は7ページに掲載)

農林業費に計上された「にんにく肉まつり実行委員会補助金(200万円)」の提案理由について町からは、「8月1日に関係団体(町・JA十勝清水町・蔬菜振興会に

んにく部会・清水町商工会・清水町観光協会)による実行委員会(実行委員長は町長)が発足し、『十勝清水にんにく肉まつり』を10月5日に開催することを決定した。その開催経費として補助金の要望があった」と説明がありました。

開催に至った経緯については、「にんにくの生産開始から10年が経過し、本町を代表する新たな農産物として確立したい、他の産地に先駆けて『十勝清水にんにく産地化』を宣言し不動の地位を確立させたい、にんにくの生産量と生産面積の充実を図りたいとの強い思いがあり、まずは、地域住民や道内外の一般消費者への周知、普及、認知度の向上を図ることを考え、『十勝清水にんにく肉まつり』の開催を決定した」と説明がありました。

開催1か月前の予算提案に反対の意見も

議員からは、「イベントに反対ではないが、なぜこの時期の提案なのか」「肉・井まつりが終わってばかりで大変なのは」「このような事業は当初予算で計上すべき」「企画内容や開催の経緯が口頭説明だけではわかりづらい」「詳細な説明を求

めたい」との声が上がり、議会は町に対し、開催要綱や予算等の資料要求を行いました。提出された資料の説明を受け、実行委員会の予算が、町補助金200万円、JA負担金200万円、道補助金(地域づくり総合交付金)220万円、出店者負担金1万5000円、総額621万5000円であることがわかりました。

「にんにく」にも注目!

補正予算

「渋沢栄一誕生の地」
埼玉県深谷市訪問
普通旅費に68万円

質疑 深谷市の企画にどのような体制で参加し、交流によってどのような成果があるかと期待しているのか。

答弁

明治31年、本町開拓の始まりとなる十勝開墾合資会社を創立した渋沢栄一翁誕生の地である埼玉県深谷市への訪問は、11月8日から11日までの3泊4日、本町からは町長、議長、商工会会長、農協組合長、観光協会会長、地域の方の計8名を予定している。今回の補正予算は、町長と議長以外の6名分の旅費。新1万円札の肖像画に選ばれたことで市は、関係団体の集いとして、11

清水町観光協会
補助金に60万円

質疑

提案説明では深谷市産業祭への出店経費ということであるが、ほとんどが旅費ではないかと思う。誰が行って、どのようなことをしてくるのか。



渋沢栄一らが出資した十勝開墾合資会社によって開拓がはじまった熊牛地区(熊牛百年拓魂之碑)

答弁

深谷市産業祭へは、出店者2名、出店ブース支援者2名(観光協会事務局)の合わせて4名を派遣する予定であり、11月8日から11日までの間、業務にあたる。補助金60万円の内訳は、旅費に約45万円、そのほか、必要な物品等のレンタル料やパネルの作成経費など。

平成30年度の一般会計を含む6会計の決算について審議が行われ、議会は**全会計の決算を全会一致で認定**しました。

一般会計の歳入決算額（1年間の収入）は106億3,803万円、歳出決算額（1年間の支出）は104億1,842万円で、歳入歳出差引残額2億1,961万円のうち1億円は財政調整基金（貯金）に積み立て、残りは翌年度に繰り越しています。

「決算認定」ってなあに？

決算は、清水町に入ったお金（収入）や使ったお金（支出）の実績です。

「決算認定」とは、議会在1年間の決算内容を確認し、確定することです。

法律に適合しているか、計算は正しいか、使われ方は適正かなどを審査するだけでなく、過去の財政状況と比較して問題点を指摘し、将来に反映させるなど、大切な役割が議会にはあります。

税金の使い方を決めるのが予算審議ですが、決算の審査は**使われた結果を検討し、今後の予算編成や行財政運営の改善に役立てる大切な意義**があります。



結婚・少子化対策事業について「清水男子図鑑」の実績は

質疑 男子図鑑に掲載された方で結婚に至った方はいるか。今後どのような事業を展開しようとしているか。

答弁 結婚に至った方はいませんが、お付き合いされている方は数名いる。今年度も昨年度と同様の事業を実施予定であるが、問題点を洗い出し、カップル成立につながるよう具体的に支援していかねばならないと考えている。

予約型乗合タクシーの利用が少なかつた理由を調査しているか

質疑 農村部に住む高齢者等の足の確保として予約型乗合

タクシーの試験運行をしたが、利用者が少なかつたため1年で終了した。利用が少なかつた理由を調査しているか。

答弁 実際に利用した方は5名と少なかつたが、登録者数は28世帯48名であつた。使つた方から話を聞いたところ、乗り合いに対する抵抗感、料金（300円）に対する使いにくさがあるとのことだつた。

災害用の食料品はどの程度備蓄しているか

質疑 災害があつて避難所が設置された場合の食料について、どの程度備蓄されているか。

答弁 食料品についてはアルファ米を中心に備蓄しているが、乳幼児や高齢者に対する

するもの、アレルギー対応に関してはまだまだ不十分であると認識している。賞味期限等も考慮しながら、民間の事業者との協定による物資提供も含めた中で、計画的に購入していく。

※アルファ米とは
炊き立てのご飯のおいしさをそのままに急速乾燥させたもの。お湯や水があればご飯やおかゆができたがる。

敬老会に出席できない方にも何か記念品を

質疑 やむを得ない事情で敬老会に出席できない人がたくさんいる。一昔前は祝金を出していたこともある。記念品は紅白まんじゅうに限らず選択できるようなするなど、工夫してみたいかがか。

答弁 敬老会の記念品をどうするかは毎年考えており、結果、紅白まんじゅうとなっている。会場の中へ入らずに記念品の紅白まんじゅうだけ受け取りに来る方も多数いる。会場に来ていただいたのが一番の願いであり、対象者全員に記念品を渡すとすると、敬老会への出席者が減り、式典自体が成り立たなくなる可能性もある。

今年から、敬老会当日であれば終わつた後でも保健福祉センターと御影支所で紅白まんじゅうを受け取れるようにした。数が足りなくなつた場合でも引換券を渡して後日受け取れるようにしている。



乳幼児健診を受けていない方に向けて何か働きかけているか

質疑 乳幼児健診の受診率が100%となつていないが、受診していない方に何か働きかけはしているか。

答弁 里帰り出産により、出産後何か月か経つてから本町に戻つてこられる方もいる。受診していない方には、電話や訪問などで確認をしている。

最近カラスが増えているが何か対策は考えているか

質疑 保育施設建設のため木を伐採したせいか、まちなかにカラスが増えて、ふんによる被害が非常に多くなつている。町として何か対策は考えているか。

答弁 カラスに関する相談件数は増えている。鳥獣保護の関係もあり駆除は難しい。子育て時期のカラスは人を襲つたりすることもあつたりする方法がないのが現状である。



観光協会補助金について、交付後は自由なのか

質疑 「清水『食』の元氣まつり」で計画されていたものが、「十勝清水肉・井まつり」に変更されたが、予算はそのまま使われている。予算審査の時に受けた説明と違つてきているが、事務手続き上いかなるものか。

答弁 観光協会では「清水『食』の元氣まつり」を統合・拡大したものととして「十勝清水肉・井まつり」を開催したとしており、このような事務処理が行われた。

事業費のための補助金については、事業を取りやめる場合は返還し、新規事業を行う場合は新たに予算を組むなど、議会に対して説明する場を設けなければならぬことは承知しており、今後はそのような方針で事務を進めていく。

街路灯・防犯灯は要望に応じて設置しているのか

質疑 町内のいろいろなところに新しい家が建つているが、街路灯や防犯灯は定期的に見回つて設置しているのか。それとも要望に応じて設置しているのか。

学校給食の量が少ないという声を聞くが調査しているか

質疑 小学校の小学生、中学生の子を持つ親から「給食の量が少ない」との声を聞くが調査はしているか。1食当たりの金額を少し上げて量を増やすなどの考えはないか。

答弁 給食モニター会議でもそのような話は出ていたが、逆に低学年は多くて余つているという意見もあつた。意見を集約して、検討する。

行政報告

9月10日報告分

▼農作物の生育状況等

9月1日現在の農作物の生育状況について、4月から5月にかけては高温少雨、6月中旬から7月中旬までは低温曇照(日照不足)で経過し、生育は一時停滞。その後、8月初旬までの好天により生育は回復傾向にあったが、8月中旬以降も変動の大きい気象で推移したため、依然として一部作物で生育が停滞している。

▼町民バスによる物損事故

7月13日、北海道小生陸上競技大会送迎業務中、厚別公園競技場の駐車場から車道へ出た際に、駐車場へ入って来た乗用車と接触。相手方車両は運転手席側の車体後方側面、町民バスは車両右側後方の路肩灯及び後輪部車体を損傷した。

その他の報告

▼健全化判断比率

健全化判断比率及び資金不足比率は、一般会計・健全化判断比率については早期健全化基準(イエローライン)と財政再生基準(レッドライン)、公営企業会計(本町においては水道事業会計と下水道事業会計)については経営健全化基準(イエローライン)が定められており、各基準以上となった場合、財政運営の健全化を図るための計画策定など、様々な制約が課せられる。

▼第1号会年度任用職員報酬及び費用弁償に関する条例

第2号会年度任用職員の給与に関する条例

▼地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例

地方公務員法と地方自治法の改正で、令和2年4月から自治体の非正規職員に「会計年度任用職員制度」が導入されることに伴う条例の新設。

第1号会計年度任用職員はパートタイム(非常勤・短時間勤務)の非正規職員で、第2号会計年度任用職員はフルタイム(常勤)の非正規職員。

【質疑なし、報告済】平成30年度決算に基づく本町の財政の健全化を示す指標は、早期健全化基準、経営健全化基準(イエローライン)を下回っており、過去5年の指標を比較すると年々改善してきている。

新規条例

▼第1号会年度任用職員報酬及び費用弁償に関する条例

第2号会年度任用職員の給与に関する条例

条例改正

▼清水町公民館使用条例の一部改正

清水町文化会館条例の一部改正

文化センター大規模改修に伴う使用料の改正のほか、公民館の部屋の名称変更、冷房期間の前後1か月間延長など。



大規模改修後の文化センター大ホール

▼特定教育・保育施設等の利用者負担条例の一部改正

学校給食センター条例の一部改正

町立幼稚園保育料等徴収条例の廃止

国の幼児教育・保育の無償化に伴い、3歳以上の子どもと住民税非課税世帯の3歳未満の子どもの保育料を令和元年10月から無料とする。

国の制度においては、これまで保育料に含まれていた給食の副食材料費については保護者から徴収することとしているが、本町においては、副食材料費についても無料とする。

今回、国の制度では保育料無償化とならなかった3歳未満の子どもについても、副食材料費分を町が負担し、無料とする。幼稚園児の給食費についても町が負担し、無料とする。

▼清水町の消防団の設置及び消防団員の定員並びに非常勤消防団員の任命等に関する条例の一部改正

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律第44条により、地方公務員法が改正されたことを踏まえ、消防団員の欠格条項から成年被後見人及び被保佐人を削除する。

【全員賛成で可決】印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正

住民基本台帳法施行令の一部改正に伴い、令和元年11月5日から住民票や個人番号(マイナンバー)カードへの旧氏(旧姓)記載が可能となることから、旧氏の印鑑でも印鑑登録ができるように改正する。

【全員賛成で可決】

補正予算

▼令和元年度一般会計補正予算(第4号)

既定予算に3億2587万9000円を追加し、予算総額を104億3151万6000円とする。

主な増額補正は、2ページに記載の「にくにく肉まつり」開催経費補助金と渋沢栄一生涯の地である埼玉県深谷市との交流に係る旅費や産業祭への出店経費のほか、各種電算システム改修業務委託料、帯広厚生病院運営費補助金、農業関係の補助金や奨励金、町営育成牧場の飼料費、道路等の補修工事費、除雪車借上料、スクールバス車庫修繕工事費など。

【賛成多数で可決】

- 賛成10
- 反対2

鈴木孝寿議員
中島里司議員

▼令和元年度後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2号)

既定予算に9万3000円を追加し、予算総額を1億7517万2000円とする。

内容は、後期高齢者医療広域連合納付金(保険料分)の追加。

【全員賛成で可決】

▼令和元年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

既定予算に4118万6000円を追加し、予算総額を11億6765万6000円とする。

内容は、高額医療合算介護サービス費、介護給付費準備基金積立金、国庫道負担金等返還金の追加。

【全員賛成で可決】

その他の議案

▼損害賠償の額の決定及び和解

【損害賠償の額】25万1813円【和解の内容】当方側の過失割合100%

内容は、後期高齢者医療広域連合納付金(保険料分)の追加。

▼令和元年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

既定予算に4118万6000円を追加し、予算総額を11億6765万6000円とする。

内容は、高額医療合算介護サービス費、介護給付費準備基金積立金、国庫道負担金等返還金の追加。

【全員賛成で可決】

意見書

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書(概要)

森林整備事業及び治山事業の財源の十分かつ安定的な確保、森林整備事業における地方債の特例措置の継続、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みや森林づくりを担う林

人事

▼教育委員会委員の任命に同意

教育委員会委員に上神田憲男さん(交睦)を再任したい旨の町長提案があり、議会は「同意」しました。



上神田 憲男 さん

▼選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

選挙管理委員会委員及び同補充員の任期満了に伴い、議会において選挙を行いました。当選者は次のとおりです。

▼選挙管理委員会委員(定数4名)

- 山本修一さん(桜ヶ丘)
- 石原 昭さん(本通3)
- 三好典幸さん(上清水)
- 新宮まり子さん(青葉)

▼同補充員(定数4名)

- 第1順位 広井卓真さん(郷愛)
- 第2順位 高田幸子さん(下美蔓1)
- 第3順位 大石英昭さん(新羽帯)
- 第4順位 佐原由理子さん(文京)

任期はいずれも、令和元年11月19日から令和5年11月18日までの4年間となっております。

議会を知る豆情報

議会の本会議で使う議案書や説明資料は、清水町議会ホームページの、「議事日程・審議結果(議案・賛否公表)」からご覧になることができます。

ひきこもりの実態を把握しているか

町長 相談や情報提供がないと把握は非常に難しい



山下 清美 議員

問 内閣府が行った平成30年度「生活状況に関する調査」では、全国の40歳から64歳までの人口の1・45%に当たる61万人が、また、平成27年度に実施した15歳から39歳までを対象とした「若者の生活に関する調査」では、人口の1・57%に当たる54万人がひきこもり状態にあると推計されている。

町長 家族からの相談や近隣住民からの情報があれば把握できるが、潜在的なケースもあり、実態の把握は非常に難しい。

町長 家族からの相談や近隣住民からの情報があれば把握できるが、潜在的なケースもあり、実態の把握は非常に難しい。

問 「8050問題」をどう捉えているか。

町長 潜在的なケースの把握が課題である。家族や周囲からの支援の求めにはできる限り対応していきたい。

「8050問題」とは

「80」代の親が「50」代の子どもの生活を支えるという親子問題。背景にあるのは子どもの「引きこもり」で、こうした親子が社会的に孤立し、生活が立ち行かなくなる深刻なケースが近年は目立ち始めている。

教育長 大ホールは、音楽、演劇、映画などの文化芸術に触れる機会となる場であり、町民がステージに立ち、さまざまな発表活動が行われる場でもある。大ホールを含め文化センター全体を文化芸術活動を活性化させる場として活用する。



今後の活用に期待の大ホール

教育長 幼児、小・中学生、一般向けの芸術鑑賞会のほか、映画会、ロビーコンサート等を実施しているが、より多くの町民に足を運んでいただけるよう芸術鑑賞会の機会を増やし、収蔵している絵画の展示などを行っていきたい。

問 芸術鑑賞の機会を積極的に提供する考えは。

文化センター
大ホールの活用方針は
教育長 文化芸術活動を活性化させるために活用する



山下 清美 議員 9ページ

- ・ひきこもりについて
- ・芸術鑑賞事業について



佐藤 幸一 議員 10ページ

- ・旧しみず温泉フロイデについて
- ・JR十勝清水駅への特急列車停車増加要請と跨線橋対策について
- ・新保育施設周辺の車進入規制計画の策定について



奥秋 康子 議員 11ページ

- ・安心安全なまちづくりについて



鈴木 孝寿 議員 12ページ

- ・三流政策の清水町と表現される町長の今後の町政方針について
- ・給食費無料化の公約はいつ実行されるか
- ・デイサービス事業の現状について



中河 つる子 議員 13ページ

- ・難聴と認知症の関係から補聴器に助成を
- ・町から発送される文書の文字を大きくして読みやすくしては



川上 均 議員 14ページ

- ・公園の遊具整備及び公園活用による交流人口の拡大について
- ・社会体育施設（体育館前パークゴルフ場・町民野球場）の補修について

町政を問う！ 一般質問

9月定例会では6人の議員が13項目にわたり一般質問を行いました。質問と答弁は要約して掲載しています。

一般質問とは

議員が町政全般に関して、執行機関（町長や行政委員会）にその執行の状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項等について質問をすることをいいます。

清水町議会では1人の質問時間を答弁も含めて90分以内としています。



佐藤 幸一 議員

問 旧しみず温泉フロ
イデの売却後の状
況について伺う。

町長 平成20年4
月に大阪府
堺市に所在する会社が施
設を取得し、同年6月か
ら営業を開始したが、平
成22年10月から休業とな
っている。

問 施設周辺の環境に
ついて、防犯、防
火の対策は講じているか。

町長 無断で私有
地に入るこ
とはできないので詳細は
把握していない。苦情は
寄せられていないが、危

問 険性があると判断したと
きは、所有者に対し改
善するよう通知する。

町長 看板につい
ての問い合
わせは多く、その対応に
ついて弁護士に相談した
経過もあるが、所有者の
同意が得られないと町が
改装、処分することはで
きないという判断であっ
た。

問 事業の再開や看板の取
扱いについて所有者の明
確な意思表示がないと、
本町が講じることのでき
る手段について、具体的
な方針を立てられない。
所有者の意思が確認でき
た時点で、対応策を検討
する。

特急の停車便増加に向けた今後の取り組みは

町長 今後も要請を続ける

問 芽室町長とともに
JR北海道釧路支
社へ出向き、特急「スー
パーおおぞら」の停車便
増加を要請したとのこと
であるが、今後の取り組
みについて伺う。

町長 現在、特急
スーパーお
おぞらで十勝清水駅、芽
室駅に停車する列車は上
下線とも各1本であり、
今後においても粘り強く
要請を続けていく。

問 跨線橋対策につ
いても要請した
と思うがJRの反応は、
と思うがJRの反応は、

町長 継続的に協
議、要望を
しているが、財政的に実
現が困難であるとの考え
は変わっていない。

問 構内通路の設置要
望についてはい
かが。

町長 安全性確保
のため新た
な構内通路の設置は行わ
ないとの考えは変わって
いない。

問 新保育施設周辺
の安全対策として、
車進入規制計画を策定す
る必要があるのではない
か。

町長 国から計画
策定に関す
る情報が届いていない。
お子さんの送迎などの
際に交通量が増えること
が予想されるので、保護
者や近隣住民の方々には
安全に走行していただく
ようご理解とご協力をお
願いしていく。



建設中の保育施設と周辺道路

新保育施設周辺の安全対策は

町長 安全走行をお願いしていく

防犯カメラの設置・管理に 規範を設けるべきでは

町長 防犯カメラ設置は必要最小限に限定

問 住民の生活様式が
多様化するにつれ、
犯罪の形態も広域化・凶
悪化する中で、安全で安
心して生活できる環境を
地域ぐるみでつくること
が大切である。

町長 新得警察署
によると、
平成30年1月から12月の
犯罪の認知件数は17件で、
内訳は凶悪犯と粗暴犯各
1件、窃盗犯12件、知能
犯2件、その他1件とな
っている。

問 不審者などの情報
提供があった場合、
その情報をどのような方
法で地域住民に伝えてい
るか。情報発信の現状に
ついて伺う。

町長 不審者情報
等が発生し
た場合は、役場防犯担当
者、学校教育課、子育て
支援課等から学校、保育
所を通じて各保護者への
注意喚起を実施し、必要
があれば生活安全推進委
員会防犯部会等が防犯
パトロールを実施してい
る。

問 夜間における、犯
罪の防止及び交通
安全に対する有効な手立
てである防犯灯設置の整
備状況について伺う。

町長 街路灯も含
め町全体で
約1400基を設置して
いる。

問 防犯カメラは犯罪
抑止効果や万が一
の事件の解決に有効と評
価され、公共施設にも設
置される傾向にあるが、
本町の設置状況と今後の
設置予定の施設はあるの
かを伺う。

また、撮影された画像
の取り扱いについては、
住民のプライバシーが侵
害されるおそれがあると
考えられる。防犯カメラ
の有用性に配慮しつつも、
住民の権利を保護するこ
とを目的に、防犯カメラ
の設置・管理に特化した
規範を設けるべきと考え
るかがいかがか。

町長 防犯カメラ
は、清水小
学校通学路のJR地下歩
道に2台設置されており、
今後は新しい保育施設に
設置予定である。

首都圏等では防犯カメ
ラ設置による不特定多数
の画像記録で犯罪抑止力
を発揮しており、自治体
設置では個人情報保護等
を目的に要綱や管理条例
を定め、住民に対しては
ガイドラインを定める自
治体もある。



奥秋 康子 議員



清水小学校通学路の地下歩道に設置され
ている防犯カメラ

本町では、都市部のよ
うな犯罪抑止力を目的と
した防犯カメラの設置予
定はなく、公共施設等へ
の設置は防犯上必要最小
限に限定し、防犯カメラ
の設置・管理については、
①設置にかかる目的が明
確であること、②目的を
達成するために必要な範
囲内で利用されること、
③設置者による責任を持
った管理・運用がなされ
ること等を基準として、
適切に設置の必要性を判
断していく。



中河 つる子 議員

高齢者の補聴器購入に助成を

町長 身障者手帳の取得で受けられる助成制度がある

問 一般的に70歳を超えると約半数の人が加齢による難聴を発症すると言われている。難聴が原因でコミュニケーションがうまくとれなくなると家族や社会から孤立し、生活の質や生きる意欲まで低下してしまふ。認知症の8割は難聴の放置が背景にあると言われているが、本町の認知症患者のうち、難聴が原因と思われる人の人数はどれくらいか。

町長 介護認定を受けている方は619名（7月末現在）で、そのうち医師意見書による認知症患者は309名、認定調査により聞こえに支障がある方は188名で約3割となっている。介護認定は認知症の原因を調査するものとはなっていないため、人数は把握していない。

問 補聴器は一般的に、片耳だけで7万円〜20万円と高い。町で助成して補聴器を利用しやすくしてはどうかか。

町長 専門医の診断を受け、必要があれば聴覚障がいのある身体障害者手帳を取得できる。その上で、その方に適合する補聴器について北海道の専門機関から判定を受けると、障害者自立支援法に基づく補聴器給付の助成対象となるので、まずは保健福祉課に相談を。



補聴器は高額なため購入をためらう人も

町長 文字の大きさは、職員がパソコンを使って独自に作成している文書であれば調整できる。法令等で様式や形態が規定されていると限られた範囲に必要な情報量を漏れなく表示する必要があり、文字の大きさを自由に調整できない場合がある。

町長 窓あき部分も紙資源としてリサイクルできる素材の封筒を使用しており、引き続き使用したいと考えている。限界はあるが、可能な限り改善する。



鈴木 孝寿 議員

三流政策からの脱出？ 誤解を生む表現では

町長 これまでの政策を否定する意味ではない

町長 「三流政策からの脱出」という言葉は、柔軟な発想を持つことと固定観念に捉われなれないという意味で表現したもので、今後は誤解を招くことのないように心掛け、この表現は使わないことにする。

問 公約である給食費無料化は大きな財政負担となり、その公約に疑問を持つ町民も多い。今後、町民との約束をどのように果たしていくのか。

町長 今年度においては優先順位として保育所や幼稚園の給食費無料化に踏み切った。今後は、安心安全な地産品を取り入れた給食を教育の一環と捉え、さらに、給食費の無料化の検討を含め、義務教育費の負担軽減に向けて努力する。

給食費の無料化はいつ実行されるか

町長 義務教育費の負担軽減に向けて努力する



うれしい給食の時間（清水幼稚園）

デイサービス事業 経営移譲は怎么样了

町長 移譲予定の法人において検討中

町長 社会福祉協議会において来年4月に経営移譲する考えを持っているデイサービス事業は、移譲予定の法人において検討中であり、結論には至っていない。今後においては、移譲に際して運営の支障となる課題の解決に向けて、町として必要な対応は取っていききたい。現状においては、20年を経過する施設の整備を含めて円滑に運営できるように、できる限りの支援をしていく。

問 利用されている方や町民の関心度が高いデイサービス事業の経営移譲を含めた来年度以降の取り組みについて、現段階での方向性と現状について伺う。

中央公園・御影公園の遊具を充実させては

町長 中央公園→現状の景観を維持した更新
御影公園→更新は地域と協議



川上 均 議員

問

町は子育て支援に力を入れているが、子育て中の保護者からは、公園で遊ばせたいけれども遊具が少なく老朽化しているなど、公園遊具の充実を求める声が強くなり、遊具の整備として、「中央公園」と「御影公園」を重点に、幼児用遊具の充実を図る考えはあるか。

町長

中央公園の遊具の整備については、昨年の点検結果に基づき、現状の景観を維持した更新を考えている。

問

中央公園と御影公園にバーベキューが可能な区域を設置して、町外から子どもたちや親子を呼ぶことで交流人口を広げられないか伺う。

町長

中央公園と御影公園は幼児・児童の利用が多く、安全性を確保するため、バーベキューの利用は認めていない。バーベキューは、清水公園内、御影パークゴルフ場内、下佐幌運動公園内にある既存のバーベキューハウスを利用していただきたい。

では、老朽化が進み、利用も少ない状況であり、築山での遊びや水遊びなどが多く見受けられるため、更新については地域と協議していく。遊具の更新に関して、各種補助交付金など有効な財源を考えていく。



清水公園の遊具は再整備を検討中



体育館前パークゴルフ場

体育館前パークゴルフ場 来年度の対応は

教育長 大規模な改善は難しい利用に支障のないよう努める

問

体育館前パークゴルフ場は、高齢者をはじめ多くの町民に利用されている。しかし、コースの一部で土が露出し傷みも激しい。多くの利用者から改善の要望が出されているかと思うが、来年度の対応について伺う。

教育長

体育館前は、元々パークゴルフ場専用にとらわれておらず、年数の経過もあり土壌がひ弱である。更に台風の影響で、土が露出し、芝の生育の悪い所がある。大規模な改善が必要であるが、現状では難しい。指定管理者と協議し、利用に支障のないよう努める。

問

町民野球場は、平成27年に大規模改修が行われたが、徐々にバックネット下部の網がめくれ、その機能が果たされず応急措置で対応している。球場使用者から補修整備の要望が出されているかと思うが、来年度の対応について伺う。

教育長

バックネット下部については、ワイヤーの伸び、ネットの歪み等が原因であり、速やかにワイヤーとネットの調整を行い、隙間が生じないように補修する。今後も指定管理者と協議しながら施設管理に努める。

委員会レポート

委員会活動として閉会中に行った所管事務調査の内容を、各委員会は第5回定例会において報告しました。
※内容は要約されています。報告書の全文はホームページでご覧になれます。

総務産業常任委員会 調査報告

防災について

調査日 令和元年7月16日

【防災行政無線】

更新に係る事業費は1億8150万円で、親局（役場）、再送信局（御影鉄南公園）、簡易中継局（波山ファームポンド）、遠隔制御設備（御影支所）、戸別受信機4200台、屋外拡声子局（10局）の整備が行われる。

主な機能は、親局からの定時放送、緊急放送、Jアラート（全国瞬時警報システム）との自動連携による放送で、緊急時には戸別受信機から大音量による自動放送が流れる。聞き逃した場合でも録音機能により再生することができ、聴覚障がい等のある方には文字表示装置が配布される。戸別受信機は、町内に居住する世帯（住民登録を問わない）、町内の希

【避難勧告等に関するガイドラインの改定】

住民は「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、自らの判断で避難行動をとるとの方針が示された。住民がとるべき行動を直感的に理解しやすいよう、5段階の「警戒レベル」を明記して防災情報が提供されることとなり、本年6月頃から運用を開始されている。

【総括】

平成28年台風10号災害の際には、大雨により防災無線や広報車からの放送が聞き取れない状況があったが、戸別受信機の整備により気象情報や避難情報を確実に伝えることが可能となる。

町内の自主防災組織の結成状況は本年4月現在で50を超えたが、今後においても引き続き組織化を進めるとともに、活動内容の充実にも努めていきたいと担当課から説明を受けた。

防災においては「自らの命は自ら守る」の住民意識が大切であるが、時が経てば過去のことは忘れがちになってしまう。防災意識も薄れていく。過去を忘れないように、防災マップの周知や避難訓練の継続など、住民の意識が高まるような、防災対策の充実強化に向けた取り組みを期待する。



昨年度、役場庁舎に非常用発電機が設置され、停電時も防災行政無線の放送が可能に

閉会中の委員会活動

12月定例会までの調査事項は次のとおりです

総務産業常任委員会

- ・町有林の現状について
- ・その他所管に関する事項について

厚生文教常任委員会

- ・高等学校振興に対する支援策について
- ・その他所管に関する事項について


広報広聴常任委員会

- ・議会広報紙の編集及び発行について
- ・その他議会の広報及び広聴に関する事項について

議会運営委員会

- ・議会の運営とその諸規定について
- ・議長の諮問に関する事項について

総務産業常任委員会で調査、検討した内容

質疑、意見提言等	調査、検討結果
議会のホームページが、https//化されておらず、安全といえないが今後の対応は。	ホームページのリニューアルに合わせて、通信プロトコルを現在の http// から https// へ変更し、通信を暗号化することで安全性を強化することである。議会では町に対し、速やかに対応するよう求めている。
防災組織に防災係、町内会には火防係もある。関連があり、役員の担い手も少ないため一つにまとめることはできないか。	防火意識の普及を目的として、以前から清水市街地には清水町町内会火防係連絡協議会が、御影市街地には御影連合町内防火班が組織され、町内会ごとに役員が選出され活動している。 自主防災組織は、地域住民が協力・連携して災害に備えてもらおうと平成30年度から町が農村部も含め全町的に結成を呼びかけている。自主防災組織には、防災係を置くこととしているが、火防係と防災係を兼ねるなど町内会等の実情に合わせることもできるとされている。火防組織に関して必要があれば、組織の存続・廃止などを今後のあり方について議論していただくこととなる。
	
上土幌町のように、バイオマスの地産地消に取り組んでほしい。	本町も家畜糞尿を利用して発電するバイオマスプラントの支援を行っているが、送電線接続の課題から一部で進んでいない状況がある。国に対し、管内市町村や関係機関が連携して、循環型農業の重要性を訴えている。電力の地産地消は、今後調査研究を行うことになっている。
雪害への対応について、オペレーターの確保などを含め除雪体制について、将来を見据えた対応を願いたい。	今年度からオペレーター等の人材育成確保対策として、町内商工業の従業員等の資格取得費用の一部を事業所に対して助成を行うなど支援を進めており、除雪業者の確保に努めている状況である。
防災対策の訓練をされたが、町民の参加が一部であった。重要な訓練なので出来れば広く周知し、対応してほしい。	台風や大雨による洪水、地震など予想されるが災害の種類において避難先も変わる。大規模な避難訓練や地域ごとの小単位の訓練など組み合わせて効果的に行い、非常時に備えることとなっている。
未来の子育てについてだが、現在の施策は管内でもトップクラス。それでもなかなか子どもは増えない。単身住宅の空いている住居を、世帯向けにしたら増えるのではないかと。また、外国人の移住の受け入れについて道で説明会があるが、そのようなことも参考にしてはどうか。	単身者住宅は特定公共賃貸住宅として、国の補助を受けて建設したものであり、間取りは1DKとなっている。また、入居要件は、公営住宅に入居できない高い収入階層などとされており、世帯向けには使えない状況である。 外国人に限らず移住希望者に対しては、町の情報を発信し住居や仕事など相談会等を積極的に行っている。
議員は自分のエリアがあると思うが、もう少し全区域に目を向けてほしい。道路の状況、草刈りの様子、排水路に入った土砂はかなり多くあるので見回してほしい。	議員は、住民全体の代表者であり、奉仕者として福祉の向上につながるよう役割を果たすよう研さんを重ねる。町では融雪期とともに、道路及び道路側溝も含めた確認を行っており、緊急度の高いところから補修や土砂上げ、清掃を行っている。町道の草刈は、年2回実施している。

議会報告会と町民との意見交換会

ともに考えよう 防災、未来の子育て

令和元年度の議会報告会と町民との意見交換会は、文化センター（5/28）と御影公民館（5/29）で開催し、延べ51名の参加がありました。
町民との意見交換会は、防災・未来の子育てをテーマに行われました。質疑、意見・提言等を受け、各委員会で調査、検討した結果について、主な内容をご紹介します。
※報告書は清水町議会のホームページ、役場1階の情報コーナー、図書館、御影支所でご覧いただけます。

議会運営委員会で調査、検討した内容

質疑、意見・提言等	調査、検討結果
防災に限らず、このような議員との議論の場があってもいいのではないかと。	団体やグループなどで懇談の要望があれば、議会として対応していく。
「まちづくり基本条例」は、みんなの声を取り上げていくもの。子育て世代の意見を聴くような意見交換会も開催してほしい。	今回、保育所など子育て関係者にも声をかけたが、参加しづらい時間帯となった。団体やグループなどで懇談の要望があれば、都合に合わせて対応していく。
人口減少に伴い、将来的には学校の統廃合問題も生じる。子育て世代の小さな声をひろって対応してほしい。	議員個々が、日頃の議員活動で住民の声に耳を傾け、対話を重ね課題解決に向けて取り組んでいく。
地元で育った子どもの働く場、受け皿をどう作っていくのか。高校生の声も聞くなどしては。	模擬議会などを通して学生と懇談をするなど、議会としても対応する。また、議員個々が、日頃の議員活動で住民の声に耳を傾け、対話を重ね課題解決に向けて取り組んでいく。
テーマはいいが、議会としての意見を持って取り組んだほうがいいのではないかと。	参加しやすいテーマを設定し、住民の意見を広く聞く目的で開催している。課題については、議会内で議論を重ね解決に向け取り組んでいく。
行政に要望するというフレーズが多かった。議会が決めるという気概がほしい。代議員であるのだから。	議会は、町の政策を作る過程及び政策を実施する過程に参画し、意思決定を行っている。ほとんどの政策は町（執行機関）で作られ、議会に提案されているが、議員は本会議や委員会での質問、質疑等を通して、間接的にかかわり、予算、契約、条例等の審議において、町の最終的な意思決定を行っている。
	
議員各位の活動量、質、情報発信力を今一層みがいてください。現状維持では駄目です。一步二歩前へ進む議論と行動につながることを期待しつつ、目に見える議会であって下さい。	住民全体の代表者であり、奉仕者として、福祉向上と地域社会の活力ある発展を目指し「具体的な政策の最終決定」と「行財政運営の批判と監視」を達成できるよう、自己研さんを積んで資質の向上を図っていく。
なかなか発言のしにくい空気を感じた。	意見交換しやすくなるように、円滑な司会・進行を行うなど、工夫を重ねていく。
浦幌町、更別の話で出ていたとおり本町も立候補者不足で選挙にならない事態が考えられるので、早めに手を打っておくべきと考える。	今回の選挙では、立候補者が定数を2名上回ったところである。住民側も自分事として、自分が議員だったらという発想でまちづくりに関心を持っていただければ、議会も取り組んでいく。

議会のうごき (8月15日～11月14日)

8月	20日 北海道町村議会 広報研修会 (札幌市)
	23日 十勝町村議会 議長研修会 (池田町)
	27日 美瑛町議会 視察来町 議会運営委員会
	30日 全員協議会
9月	3日・18日 議会運営委員会
	4日 総務産業常任委員会 (合同作況調査)
	10日・17日・18日・24日・26日 第5回町議会定例会
	10日・17日 総務産業常任委員会 厚生文教常任委員会
	24日 全員協議会
	26日 広報広聴常任委員会
10月	2日・3日 広報広聴常任委員会 視察調査 (遠軽町・鷹栖町)
	11日・28日 広報広聴常任委員会
	17日・18日 市町村議会議員特別セミナー (千葉市美浜区)
	28日 十勝町村議会議員研修会 (足寄町)
31日 総務産業常任委員会	
11月	5日・6日 厚生文教常任委員会 視察調査 (札幌市)
	7日 広報広聴常任委員会
	13日 町村議会議長全国大会 (東京都)

議会 TOPICS トピックス

北海道町村議会 広報研修会 (8/20 札幌市)

「読者目線で親切な広報紙を作るには～手に取られ、読まれ、行動に結びつけるには～」と題した広報研修会に広報広聴常任委員会委員6名が出席しました。

十勝町村議会 議長研修会 (8/23 池田町)

加来良明議長が出席。「安心のまちづくりと財政」「池田町におけるワイン事業」と題した講演を聞き、ワイン城の非公開施設、ブドウ畑、河川パーク、学校グラウンドの芝生化を視察しました。

美瑛町議会 議会運営委員会 視察来町 (8/27)

本町議会における議会改革と議会活性化の取り組みについて、視察研修(所管事務調査)が行われました。

当別町議会 議会運営委員会 視察来町 (9/30)

本町議会における議会改革と議会報告会の取り組みについて、視察研修(所管事務調査)が行われました。

市町村議会議員 特別セミナー (10/17～18 千葉市 市町村アカデミー)

自治体が直面している重要課題や時局の話題を取り上げる市町村議会議員特別セミナーに、鈴木孝寿議員、口田邦男議員、桜井崇裕議員の3名が出席しました。

十勝町村議会 議員研修会 (10/28 足寄町)

十勝管内の町村議会議員を対象とした「議員研修会」が足寄町で開催され、本町からは議員9名が出席しました。研修では、「とちカラ未来へ」と題した、十勝総合振興局長 三井 真氏(写真)の自作の紙芝居を交えた講演が行われました。



厚生文教常任委員会で調査、検討した内容

質疑、意見提言等	調査、検討結果
札幌市では体育館を駅の近くに建て、災害拠点としての機能を持たせているので参考にしたい。	体育館の建替えに関しては、災害時の避難所としての活用なども含め検討していくとのことである。
高校生の殆んどが農業のことを知らない。地元愛を育む対応が必要ではないか。	清水高校では、生産技術系列で実習等により農業を学べる。さらに、これまでも地域・社会とのつながりを持った取組みもされており、教育委員会では引き続き地元の高校に協力していくとのことである。
川崎の事件。人の目が犯罪を無くすことに繋がる。町全体で声かけ、見守りが出来るような対応が必要ではないか。	下校時に青色回転灯を使ったパトロールの回数を増やすなど、防犯啓発を行っている。清水町まちづくり推進協議会とも連携し、あいさつ声かけ運動を行うなどに取り組むとのことである。
子ども110番の旗を立ててくれるところを募集していたが、立てるだけでは効果がない。地域の住民が、見守りに積極的に参加していくことが大切と感じる。	現在87戸で子ども110番の家の登録をいただき、旗を設置している。協力者がいつも在宅しているとは限らないが、旗があることにより、防犯意識の高い地域として犯罪の抑止力となる効果もあり、地域での見守り活動の協力を呼びかけるとのことである。
フッ化物洗口についてだが、フッ素は産業廃棄物である。フッ素塗布はWHOでも5歳以下は禁止されている。町教育委員会にも要請したが、制度化されているということで、取り上げてもらえなかった。	フッ化物洗口は、虫歯予防の効果が高く安全であることが、科学的・学術的に保証されており、日本歯科医師会や日本歯科医学会などの専門学科も一致して利用を推奨している。北海道においては、「北海道歯・口腔の健康づくり8020推進条例」に効果的な歯科保健対策として、小・中学校におけるフッ化物洗口の推進が盛り込まれている。道教育委員会でも、虫歯予防のため学校におけるフッ化物洗口を積極的に推進しており、町としても実施している。なお、実施は強制するものではなく、希望する児童に対し行っているとのことである。
今のフッ化物洗口の件、たまたま先日テレビ番組で取り上げられていたが、その番組では虫歯予防に効果的との内容であり、推奨していたが。	
全国で通学事故が多く悲しい。子どもの事故予防として、歩道の交差点などに可愛い止まれる絵が目印として描かれているところもある。このような取り組みを議会でも提案できないか。子どもが犠牲となる事件についても、議会で考えてほしい。	交差点横断歩道の手前などに設置しているストップマーク(絵)については、清水地区に現在16箇所に設置されているが、御影地区も含め園児の散歩コースなどへも設置を検討するとのことである。関係機関により設置している「清水町通学路安全推進会議」において、危険箇所の合同点検を行うなど効果的な対策を講じていく考えである。議会においても、安全・安心なまちづくりを推進するため議論していく。



町民にインタビュー

むらかみ かな

村上佳奈さん（西清水）



子連れでもくつろげる空間をつくりたい！

— 清水町に来たきっかけは。

あすなるファーマーミングの後継者である夫の悦啓さんと故郷の香川県で出会い、結婚を機に清水町に来ました。

— 清水町の魅力は何だと思えますか。

町をあげてのイベント（お祭りなど）が多いことです。たくさんの人と会える機会であり、会話を通じて地域とのつながりを感じることができることがうれしいです。

— 清水町の子育て環境はどうですか。

保育所に通う双子の女の子の母ですが、高校生まで医療費が無料なのはとてもうれしいです。子どもを思いっきり遊ばせることができる、遊具の充実した公園があるというなと思います。

— 議会だよりは読んでいますか。

毎号気になるところは読んでいます。前号の表紙は息子たちが通っている保育所の運動会の写真でしたが、議員自らがカメラを持って撮影している姿はこれまでになかったかと思えます。素人らしい写真（笑）が逆にいなと思えました。

— 町政に望むことはありますか。

4月からごみの分別が変わり、燃やせないごみの量が増えたので、月の収集回数を見直してほしいです。

— 将来の夢はありますか。

子連れでも気兼ねなく入れてくつろげるカフェのような空間をつくるのが夢です。清水公園へ遊びに来たついでに寄っていただきたいです。

議会を傍聴してみませんか

開会
12月10日

12月定例会は、12月10日に開会を予定しています。

傍聴は審議の状況を直接ご覧になれる身近な方法です。役場3階に、お気軽にお越しください。

詳細は、12月上旬に発行する新聞チラシ折込をご覧ください。

清水町議会ホームページでも生中継や録画中継がご覧になれます。

表紙の写真

御影秋まつり 子ども相撲

9月12日、御影神社境内。

今では珍しくなった子ども相撲。

土俵づくりに60年も携わっている山崎さん（表紙写真左から1人目）。

24歳から行司をしている水津さん（表紙写真右から1人目）。

仲間たちと伝統の相撲を引き継いでいます。

その原動力は子どもたちの笑顔です。

撮影：広報広聴常任委員会 中河 つる子

